

一般質問通告事項一覧表

令和3年第2回定例会

通告 順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	山崎幸子	「中学校の制服」について	<p>学校の「顔」の一つともいえる制服。男子の学ランや女子のセーラー服が代表的だが、男女異なるものを着るのが当たり前とされてきた学校の制服で、苦しんでいる子どもがいる。LGBTなどの性的少数者の中には、自認する性とは異なる制服を着用できず、教室で孤立したり、不登校になったりした経験を持つ人が少なくない。</p> <p>1. 本村中学校では、制服の着用に関し、校則はどのようなになっているか。</p> <p>2. 生徒が、制服の着用を拒否した場合、学校は生徒の意思を尊重し、制服を着用しないことを認めるか。</p> <p>3. 近年、中学校の制服で性別に関わらず、スカート・スラックスを選択できる動きが広まっているようだが、本村としては自由に選択できるようにはならないか。</p>	教育長 担当部長
		「幼稚園の給食」について	<p>昨年、幼稚園の保護者に給食とお弁当の回数についてアンケートを行い、その結果に基づいて、給食を週3回、お弁当を週2回とし、6、7、9月は夏季の食の安全を考慮し、週5日間の完全給食とした。その際、給食の回数に関するアンケートを毎年行っていくとの事だったが、本年度はアンケートを行ったか。</p>	担当部長

通告順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	松村広志	ヤングケアラー支援について	<p>大人に代わり、家族の世話や介護をする18歳未満の子どもたちを「ヤングケアラー」という。先の厚労省と文科省による初の実態調査によれば、公立中学2年生の5.7%（約17人に1人）、公立の全日制高校2年生の4.1%（約24人に1人）が家族の世話をしながら学校に通っている。日々のケアが重い責任や負担となり子どもたちの教育や生活に大きな影響を与えている。支援に向け以下を問う。</p> <p>①本村の現状（早期発見・把握）について</p> <p>②“支援策”の推進について</p> <p>③今後の社会的認知度の向上について</p>	担当部長
		SDGsの取り組みについて	<p>国の「SDGsアクションプラン」の優先課題の一つは、子どもの貧困対策や教育のデジタル・リモート化を進めるとともに、ESD（持続可能な開発のための教育）と次世代へのSDGsの推進である。いま、コロナ禍において学校教育とその環境の在り方が問われている。何よりも、子どもたちに創造性と豊かな心を育む上では、ESDへの積極的な取り組みは必要と考える。改めて本村の意向を問う。</p>	担当部長

通告順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	林 昌子	防災対策について	<p>本年5月20日に内閣府にて「避難情報に関するガイドライン」の改定がなされ、本村のホームページにも「水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わりました」と、5月19日付けで掲載されました。</p> <p>これは、「令和元年度台風19号等による災害からの避難に関するワーキングチームグループ」からの提言が令和2年12月にまとめられ、さらに「サブワーキンググループ」からの提言を踏まえ、災害対策基本法が令和3年に改正されたことによるものです。</p> <p>「警戒レベル3・4・5」の避難行動指示が変更となっていますが、具体的にどのように変わったのかお尋ねいたします。</p> <p>①警戒レベルごとの指示及び住民の行動</p> <p>②各災害の対象地域住民に対する周知方法</p> <p>③マイタイムラインの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般家庭</li> <li>・小中学校</li> <li>・障害者</li> <li>・外国人</li> </ul> <p>④避難所の企業連携</p>	村長 担当部長